



文化・教養・スポーツ

お知らせ

## 20歳の門出に乾杯 成人式は1月12日

1月12日(日)に中学校区ごとに成人式を行います。本市に住民登録があり、対象となる人には平成25年11月中旬に案内はがきを送付しました。なお、市外に在住している人や案内はがきがない人でも、当日受け

市の豊かな伝統文化を宇都宮伝統文化連絡協議会が解説 宇都宮の伝統文化講座  
▽日時・内容 下の表の通り。全5回▽会場 河内(運) (中岡本町)▽対象 市内在住の人▽定員 先着50人▽申込 1月17日までに、電話で、伝統文化連絡協議会事務局(文化課内) ☎(632)2768へ。

時間：午後1時30分～3時

期 日	内 容
1月30日	花開く宮の祭り 宇都宮の社寺の祭り
2月6日	宇都宮の伝統工芸
2月13日	宇都宮の年中行事
2月20日	宇都宮の屋台・山車と天棚
3月10日	伝えられる宮の味 宇都宮の伝えたい郷土料理

付けにより参加できます。開催会場や時間などについて、詳しくは、生涯学習課 ☎(632)2678へ。

## 宇都宮城桜まつり ステージなど参加団体募集

■日時 3月30日(日)午前10時～午後3時。  
■会場 宇都宮城址公園。  
1 ステージイベント  
▽出演時間 30分以内(準備・撤収を含む)。  
▽対象 「春」や「歴史」にちなんだ演奏や踊りなど。  
▽定員 抽選10団体程度。  
2 模擬店・展示ブース  
▽対象 模擬店は、市内に店舗を構えているか、自治会などの団体。  
▽費用 1団体5000円

(テント1張り・机3本・椅子3脚)。ただし、出店者でテントなどを用意する場合は3000円。  
▽その他 電源は用意しません。

■申込 「よみがえれ!宇都宮城」市民の会事務局(市役所11階・公園管理課内)に置いてある申込用紙(市HPからも取り出し可)に必要事項を書き、1月31日(必着)までに、直接または送付・ファクスで、〒320-8540 市役所公園管理課 ☎(632)2989、FAX(632)5418へ。

## 市民芸術祭ミュージカル 研究発表会 出演者オーディション

■サウンド オブ ミュージック(ミュージカル)  
▽期日 7月20日(日)。  
▽会場 文化会館(明保野町)。  
■オーディション  
▽日時 2月8日(土)午後6時。  
▽会場 総合コミュニケーションセンター(明保野町)。  
▽内容 ミュージカル出演者を決定するためのオーディション。

## とびやま歴史体験館で歴史と文化に触れよう

■新春 古城の音楽会 和太鼓演奏会  
▽日時 1月19日(日)午後1時～2時30分。雨天中止▽会場 飛山城史跡公園(竹下町)▽内容 男性雷太鼓(和太鼓)と竹下町お囃子会(小松流新囃子)による演奏▽その他 暖かい服装でお越しください。

■古文書に清原をたずねる  
▽日時 1月25日、2月8・15日、3月1・15日、午後1時30分～3時。全5回▽会場 とびやま歴史体験館(竹下町)▽内容 古文書を通して清原の歴史に触れる。古文書判読の入門編▽定員 先着20人程度▽申込 電話またはファクス(住所・氏名・電話番号を明記)で、とびやま歴史体験館へ。

■飛山城史跡公園から富士山が見えます 飛山城史跡公園は、関東の富士見百景に選定されています。寒中天气のよい朝夕には、富士山や鬼怒川の清流を眼下に日光那須の連山も鑑賞できます。詳しくは、とびやま歴史体験館へ。

問とびやま歴史体験館 ☎(667)9400、FAX(667)9401



オーディション。

▽対象 市内に在住か通勤通学している5歳以上の人。高校生以下の場合には、保護者の同意が必要。  
▽費用 オーディション合格者のみ2万円(受講料・音響・照明委託料など)。  
▽申込 送付または電話、ファクス、Eメール(住所・氏名・年齢・性別・電話番号・演劇経験の有無を明記)で、1月24日(必着)までに、〒320-8570 市文化会館「ミュージカル研究発表会」係 ☎(636)2125、FAX(635)3

## 市民芸術祭文芸作品 創作・随筆・詩・短歌・俳句・川柳を募集

▽費用 1種目に付き1000円(高校生・同年齢者は無料)。  
▽申込 文化課(市役所12階)・各運に置いてある募集要項(市HPからも取り出し可)をご覧の上、4月1日(必着)までに、市民芸術祭実行委員会事務局(文化課内) ☎(632)2767へ。

593、☒uaf@uacf.jpへ。

◎人権講演会 in 芳賀 1月18日(土)午後2時～3時45分(午後1時30分開場)▽会場 芳賀町民会館(芳賀町)▽内容 「歴史の中の人権」と題した、井沢元彦さん(作家)による講演▽定員 先着1,000人▽その他 手話通訳・要約筆記あり。問県人権施策推進課 ☎(623)3027

# 催し

## スポーツ健康体力相談 目的・体力に応じたトレ ニングメニューを提供

▽日時 2月12・26日(水)、  
午後1時～2時30分と午後  
3時～4時30分の2回。  
▽会場 明保野体育館(明  
保野町)。  
▽定員 各先着10人。  
▽費用 500円(参加費)。  
▽申込 1月6日午前9時

から、電話で、市スポーツ  
振興財団(元今泉5丁目)  
☎(663)1611へ。

## 宇都宮美術館外プロ ジェクト「おじさん の顔が空に浮かぶ日」

▽日時 1月26日(日)午後  
3時～5時。  
▽会場 下野新聞NEWS  
CAFÉ(江野町)。  
▽内容 「現代芸術活動  
チーム目」による活動報告  
会と準備ミーティング。

# 宇都宮の伝統文化

伝統食「冬のサガンボ料理」

冬に魚屋などの店先に少  
し変わった魚が「ムキザメ」  
として売られています。「サ  
ガンボ」と言った方がなじ  
み深いと思います。

県に来るサガンボは、茨  
城県的那珂湊や平潟漁港な  
どで水揚げされたものです。  
サメは、死ぬと体内に蓄積  
された尿素が分解され、ア  
ンモニアが生成されるため、  
独特の臭気を発するので現  
地では敬遠されています。  
しかし、このアンモニアに  
よって腐敗が抑制され、長

持ちするので、冷蔵庫がな  
かった時代、内陸地方では、  
サメが貴重な海の魚として  
販売されました。

この「サガンボ」という  
名前の由来は、頭を切り落  
とし皮を剥いだアブラツノ  
サメの姿が、つらの形に  
似ており、茨城県北部地域  
でつららを「サガンボ」と  
呼ぶために付いたものです。  
冬になると県民は、「サ  
ガンボ」の切り身を砂糖  
しょうゆで煮付けるなどし  
て食べました。一晩置くと

本文中に記載がないものは、原則として、対象外となります。費用は無料、申込不要。  
HPホームページ、☑Eメールアドレス、☑地域自治センター、  
☑地区市民センター、☑出張所、☑生涯学習センター、☑生涯学習センター、☑地域コミュニティセンター、☑市民活動センター



## 文化財防火デーに 文化財火災消防訓練

▽日時 1月21日(火)午後  
1時30分～荒天中止。  
▽会場 善願寺(南大通り

▽定員 抽選20人。  
▽申込 1月17日までに、  
はがきまたはファクス(住  
所・氏名・電話番号を明  
記)で、〒320-0004長岡町  
1077宇都宮美術館☎  
(643)0100、FAX(643)  
0895へ。

## うつのみや 文化協会書展

冬の冷気で煮凝りができま  
すが、これも何とも味わい  
深いものです。  
サガンボ料理は海なし県  
の栃木ならではの料理と言  
えるでしょう。  
(宇都宮伝統文化連絡協議会  
会長 柏村 祐司)

▽日時 1月24～26日、午  
前10時～午後5時。ただし、  
24日は午後1時～、26日は  
午後4時まで。  
▽会場 市文化会館(明保  
野町)。  
▽その他 1月25日(土)午  
後3時～神刀無念凱山流の  
吟と舞を開催。  
⑥市文化協会☎(632)274

1丁目)。  
▽内容 文化財の火災消防  
訓練。  
⑥文化課☎(632)2768

## 河内図書館おはなし ボランティア養成講座

▽日時 2月12・19・26日、  
3月12・19・26日、午前10  
時～正午。全6回。  
▽会場 河内図書館(中岡  
本町)。  
▽内容 おはなしボラン  
ティアの活動に必要な心構  
えと基本的知識である素話  
(ストーリーテリング)や  
絵本の読み聞かせなどに  
ついての説明と実習。  
▽対象 修了後、河内図書  
館でおはなしボランティア  
として活動できる人。  
▽定員 先着20人。  
▽申込 1月7日午前9時  
30分から、直接または電話  
で、河内図書館☎(673)67  
82へ。

▽会場 河内(中岡本  
町)。  
▽内容 「自然の驚きと感  
動」と題した、関谷忠一さ  
ん(とちぎ自然塾)による  
講演。  
▽対象 市内在住の20歳以  
上の人。  
▽定員 先着50人。  
▽申込 直接または電話で、  
河内☎(673)0800へ。

## 河内生涯学習センターで 新春講演会

▽日時 1月25日(土)午前  
10時～正午。午前9時30分  
開場。

◎文化振興大会参加と美術館見学 ▽日時 2月8日(土)午前8時30分～午後5時▽集合場所 市役所▽コ  
ース 益子陶芸美術館～芳賀町民会館(文化選奨・奨励賞表彰など)～市役所(解散)▽定員 抽選40  
人▽費用 2,000円(昼食代、入館料など)▽申込 往復はがきの往信に、「文化振興大会」と明記し、  
参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を、返信に代表者の郵便番号・住所・氏名を書き、1月17日(必  
着)までに、〒320-8540市文化協会(市役所文化課内)☎(632)2746へ。



# 市民俳歌柳壇

## 柳壇 荒井宗明 選

◎選評 「遠親は近隣にしかず」といことわざは遠い親類より近く他人の方が頼りになるとい意味である。また、向う三軒両隣ともいふことも近所の付き合いを大切にせよとの戒めであり真実だと思ふ。ついでだから戦時中の隣組の唄を紹介しよう。とんとん とんからりと隣組。障子を開ければ顔馴染み、回して頂戴回覧板、助けられたり助けたり…。明るい唄であった。

西川田南1丁目 笹沼 秀臣

外面の良さも生活必需品  
平松本町 鶴牧美佐子  
分別のすべなき核の捨てどころ  
付添いの妻問診をみな答え  
南町1丁目 小島 澄子  
冬眠へ熊忙しいけもの道  
茂原2丁目 野口 久弥

## 歌壇 安野登美子 選

◎選評 「じんわりとまとひ来しもの」じわじわと心に絡みついてきたもの。このわだかまりは容易に想像できる。「溶けゆくか」の疑問が下の句で明確になる。「ゆず湯」が媒体となり「二人身を温めぬ」と心身に深く潜ませた一首である。

鶴田町3丁目 間庭 ツル

じんわりとまとひ来しもの溶けゆくかゆず湯に一人  
身を温めぬ  
末広2丁目 福田ミチイ  
垂れ萩の揺れるにまかす赤トン  
ボ見上げし空はどこまでも青  
緑2丁目 片嶋 青水  
黒しぐれ北の空より迫りきて底  
ごもりする雷鳴ひびく  
震災の復興未だ遠けれど山は色  
つき空は青空  
江曾島町 長谷川 昇  
どこからか甘くかがよう金木犀  
好みし母のふとよみがへる  
戸祭2丁目 林 佳子

## 俳壇 星田一草 選

◎選評 樹木の保護や害虫の駆除のための菰巻は冬の風物。掲句はその作業の様子。「いも結び」は職人の技術。荒々しい松の幹に菰がしっかりと手際よく結び付けられる。はさみの音や新わらの甘い匂いが伝わってくる。作業が終われば冬を待つばかりである。

下戸祭2丁目 若度マチ子

松に菰いも結びして冬支度  
立伏町 大樹龍五郎  
鴨脚散り枝晴天を突き上げる  
宮本町 植野 篤治  
大鮎はたと止まりて対ひたり  
茂原3丁目 原田 正雄  
星月夜プラネタリウムの絵を重ね  
下田原町 五十嵐由美子



うつつのみやなぜなに?

うつつのみやにまつわる「はてな」をミヤリーと友だちのハッピーが紹介するよ。



市役所の近くにある大きいイチヨウの木について教えて。

あの木は、「旭町の大銀杏」として市民に親しまれていて、高さは約33メートルもあるんだよ。

ずっと昔からあったの？

木の年齢である樹齢は、約400年といわれているよ。宇都宮城があった頃から生えていたんだ。第二次世界大戦の時には空襲で黒焦げになったんだけど、次の年には芽吹いたんだよ。

「大銀杏」は宇都宮のシンボルだね。

そつだね。この「大銀杏」は、市の天然記念物にも指定されているの。そして、市民に愛着・親しみ・誇りを感じさせる魅力的な風景として「うつつのみや百景」に選ばれているよ。今年度は、「まちなみ景観賞」にも選ばれたんだ。

ミヤリー ムヤリー ムヤリー ムヤリー ムヤリー ムヤリー  
宇都宮のシンボルとして、これからも大切にしていこうね。



▲戦災で焼けた「大銀杏」

◎俳歌柳壇 応募方法 1人に付き俳句3句、短歌3首、川柳3句以内。対象は市内在住の人で、未発表作品に限ります。はがきに、作品・住所・氏名・ふりがな・応募する壇名を書き、毎月20日（消印有効）までに、〒320-8540市役所広報広聴課へ。俳句・短歌・川柳の併記は不可。☎広報広聴課 ☎(632)2028